

- 水巻町は人工私有林が1ha程度と少なく、森林経営可能な森林もないため、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく方針。
- 令和5年度は以下の取組により、木材利用及び普及啓発を行った。
 - ・ 森林環境譲与税を活用して、図書館歴史資料館に国産材による展示用書架を導入し、町民が木と触れ合い、木の良さを理解してもらうための環境を作ることができた。

□ 事業内容

① 図書館歴史資料館 展示用書架導入事業

図書館歴史資料館に、国産材の書架を導入することにより、住民が木と触れ合い、木材ならではの温かみを広く知ってもらうことで、木材利用の普及啓発を行った。

【事業費】2,398千円（うち譲与税 2,398千円）

【実績】書架等 9 台



（木製書架）

□ 工夫・留意した点

町内の木製品制作グループと連携し、来館者の目に留まり、本を取り出しやすくなるようにデザインを工夫した。

□ 取組の効果

多くの町民に木材の温かみを知ってもらうことができた。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額	3,232千円
②私有林人工林面積（※1）	1ha
③林野率（※1）	9.6%
④人口（※2）	28,114人
⑤林業就業者数（※2）	2人

【参考資料】

※1 「2020農林業センサス」より ※2 「R2年国勢調査」より